

氏名	梅 村 茂 夫
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 449 号
学位授与の日付	昭和53年 3月 31日
学位授与の要件	医学研究科生理系生化学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学位論文題目	Studies on a patient with iminodipeptiduria II. Lack of prolidase activity in blood cells (イミノジペプチド尿症患者に関する研究 II. 血液細胞におけるプロリダーゼ活性の欠損)
論文審査委員	教授 妹尾左知丸 教授 森 昭胤 教授 大藤 眞

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

1974年、慢性難治性下腿潰瘍と知能低下を主訴として、岡山大学医学部附属病院を訪れた当時11才の少女は病因不明の為、当教室で尿中アミノ酸を調べたところ、正常尿では見られない多数の未知のピークが検出された。そこで著者等は、これらのピークを分離、同定したところ、Gly-Proなど Pro やHyp をC末端にもつ、多数のイミノジペプチドが多量排泄されていることが判明したので、その成績を副論文に報告した。

次いで著者は、本疾患がプロリターゼ欠損症なることを推定し、患者の赤血球及び白血球について酵素化学的検査を行い、この患者がプロリダーゼ欠損症なることを確証した。著者は、更に患者の家族についても検査を行い、患者の妹もプロリダーゼ欠損症であることを確証し、その尿中イミノジペプチドの定量を行い、又本疾患の遺伝様式が常染色体性劣性遺伝なることを明らかにした。

海外では、この種の患者は1972年以来、3例発見されているにすぎないが、この姉妹は本邦で発見された最初のプロリダーゼ欠損症患者である。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は原因不明の難治性下腿潰瘍と知能低下をもつ11才の少女について尿中アミノ酸を分析し、プロリンやヒドロキシプロリンを含むジペプチドが大量に尿中に排泄されていることを見出し、本症がプロリダーゼ欠損症であろうと推定し、赤血球及び白血球の酵素化学的検索によってこれを証明したものである。本症は既に3例報告されているが我国で見出されたのは最初であり、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。